

高金利先進国債券オープン（毎月分配型） ＜愛称 月桂樹＞

運用報告書（全体版）

第250期（決算日 2024年8月13日）第252期（決算日 2024年10月10日）第254期（決算日 2024年12月10日）
第251期（決算日 2024年9月10日）第253期（決算日 2024年11月11日）第255期（決算日 2025年1月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「高金利先進国債券オープン（毎月分配型）」は、2025年1月10日に第255期の決算を行ないましたので、第250期から第255期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2003年8月5日から原則無期限です。
運用方針	主として、ソブリン債（国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債などをいいます。）や社債などを主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「高利回り先進国債券ファンド クラスA」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は「アモヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。
社名変更後URL: www.amova-am.com

<940380>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率				
226期(2022年8月10日)	円 3,948		25	% 2.8	—	—	% 98.9	百万円 70,115
227期(2022年9月12日)	3,928		25	0.1	—	—	99.0	69,220
228期(2022年10月11日)	3,656		25	△6.3	—	—	99.0	64,121
229期(2022年11月10日)	3,768		25	3.7	—	—	99.0	65,676
230期(2022年12月12日)	3,858		25	3.1	—	—	99.1	66,698
231期(2023年1月10日)	3,651		25	△4.7	—	—	98.4	62,909
232期(2023年2月10日)	3,619		25	△0.2	—	—	99.0	62,012
233期(2023年3月10日)	3,559		25	△1.0	—	—	99.0	60,831
234期(2023年4月10日)	3,615		25	2.3	—	—	98.4	61,524
235期(2023年5月10日)	3,630		25	1.1	—	—	99.6	61,558
236期(2023年6月12日)	3,604		25	△0.0	—	—	99.0	60,721
237期(2023年7月10日)	3,602		25	0.6	—	—	98.9	59,683
238期(2023年8月10日)	3,623		25	1.3	—	—	99.0	59,452
239期(2023年9月11日)	3,596		25	△0.1	—	—	99.0	58,509
240期(2023年10月10日)	3,468		25	△2.9	—	—	98.3	55,992
241期(2023年11月10日)	3,577		25	3.9	—	—	99.0	57,035
242期(2023年12月11日)	3,554		25	0.1	—	—	99.0	55,417
243期(2024年1月10日)	3,643		25	3.2	—	—	97.5	55,761
244期(2024年2月13日)	3,652		25	0.9	—	—	99.0	55,177
245期(2024年3月11日)	3,670		25	1.2	—	—	99.0	54,744
246期(2024年4月10日)	3,671		25	0.7	—	—	98.9	54,580
247期(2024年5月10日)	3,699		25	1.4	0.0	—	98.9	54,640
248期(2024年6月10日)	3,765		25	2.5	0.0	—	98.9	55,115
249期(2024年7月10日)	3,877		25	3.6	0.0	—	98.9	56,436
250期(2024年8月13日)	3,596		25	△6.6	0.0	—	99.0	52,119
251期(2024年9月10日)	3,524		25	△1.3	0.0	—	99.0	50,798
252期(2024年10月10日)	3,572		25	2.1	0.0	—	98.7	51,249
253期(2024年11月11日)	3,526		25	△0.6	0.0	—	98.0	50,539
254期(2024年12月10日)	3,492		25	△0.3	0.0	—	98.9	49,550
255期(2025年1月10日)	3,417		25	△1.4	0.0	—	99.0	47,715

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしているため、適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比	投 資 信 託 組 入 比	信 託 券 率
			騰 落	率			
第250期	(期 首) 2024年7月10日	円 3,877		% —	% 0.0		% 98.9
	7月末	3,693		△4.7	0.0		99.1
	(期 末) 2024年8月13日	3,621		△6.6	0.0		99.0
第251期	(期 首) 2024年8月13日	3,596		—	0.0		99.0
	8月末	3,631		1.0	0.0		99.1
	(期 末) 2024年9月10日	3,549		△1.3	0.0		99.0
第252期	(期 首) 2024年9月10日	3,524		—	0.0		99.0
	9月末	3,604		2.3	0.0		99.1
	(期 末) 2024年10月10日	3,597		2.1	0.0		98.7
第253期	(期 首) 2024年10月10日	3,572		—	0.0		98.7
	10月末	3,592		0.6	0.0		98.9
	(期 末) 2024年11月11日	3,551		△0.6	0.0		98.0
第254期	(期 首) 2024年11月11日	3,526		—	0.0		98.0
	11月末	3,492		△1.0	0.0		99.0
	(期 末) 2024年12月10日	3,517		△0.3	0.0		98.9
第255期	(期 首) 2024年12月10日	3,492		—	0.0		98.9
	12月末	3,484		△0.2	0.0		99.0
	(期 末) 2025年1月10日	3,442		△1.4	0.0		99.0

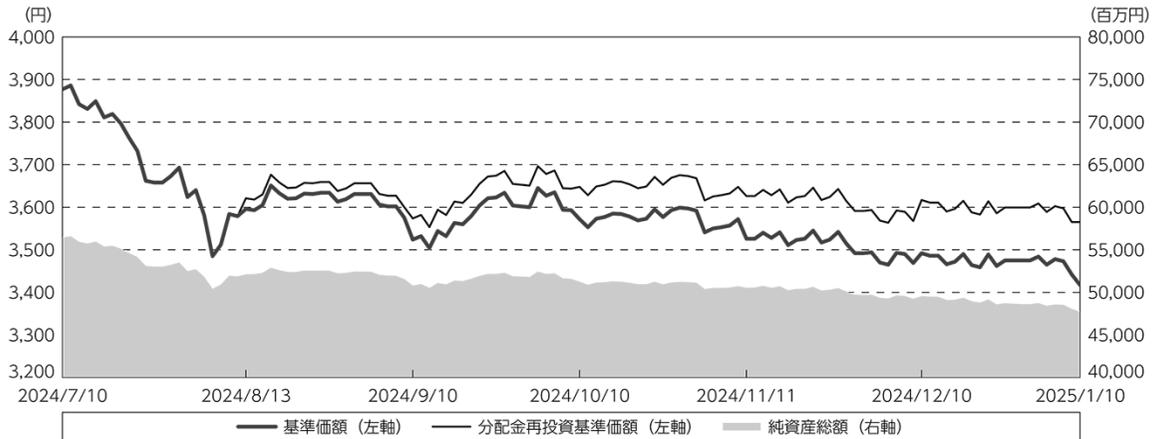
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2024年7月11日～2025年1月10日）

作成期間中の基準価額等の推移



第250期首：3,877円

第255期末：3,417円（既払分配金（税込み）：150円）

騰落率：△ 8.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年7月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、世界の主要先進国の債券に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保および信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・ 利回りの高い現地通貨建て債券への投資によるインカム収入を得たこと。
- ・ ニュージーランド国債の利回りが低下（債券価格は上昇）し、リターンにプラスに寄与したこと。

＜値下がり要因＞

- ・ ニュージーランドドル、オーストラリアドルを中心としてポートフォリオの組入通貨が円に対して下落したこと。

投資環境

（債券市況）

当期間は、世界的に金融政策が緩和方向へと大きくシフトしました。米国連邦準備制度理事会（FRB）、欧州中央銀行（ECB）などの各中央銀行は、経済成長やインフレに対する懸念を受けて、利下げを開始しました。

この期間の世界経済の成長パターンは、まちまちとなりました。底堅さの兆しが見られる地域がある一方、困難な状況に直面した地域もありました。インフレ率は、米国やユーロ圏などの主要地域を中心に鈍化の兆しが見られ、各中央銀行は金融政策の緩和を進めました。

FRBは2024年9月に利下げサイクルを開始し、フェデラル・ファンド（FF）金利の誘導目標を0.50%引き下げました。ECBは金利に対するスタンスを維持しましたが、今後利下げを実施する可能性を示しました。一方、日銀は2024年7月に市場の予想外に政策金利を引き上げ、金融政策のスタンスのシフトを示唆しました。

今後、各中央銀行は利下げサイクルを継続すると予想されますが、経済指標やインフレ動向によってペースは異なるとみられます。世界経済は成長が続く可能性が高いものの、そのペースは地域によってばらつきが見られるかもしれません。市場のボラティリティ（変動性）については、地政学的な緊張の継続や貿易摩擦、経済の不透明感から継続することが予想されます。

最近では、米国の大統領選挙の結果を受けて消費者心理が足元および予想の両方で高まっている模様です。しかし、データでは労働市場、消費、投資行動が減速していることが示されています。新築住宅販売件数や住宅ローンの申込みは予想通り依然として低調となっており、これは住宅ローン金利が上昇していることを考えれば、意外なことではありません。FRBは「雇用とインフレの双方のリスクに注意を払う」としており、2024年9月に0.50%の利下げを実施したことに続き、11月の会合で0.25%の利下げを実施しました。その後は、12月の会合で0.25%の利下げを行ない、次第に緩和サイクルの「新たな段階」に入りました。住居費以外の価格がデフレ状態にあり過去6ヵ月間に前年比-0.6%となるなかでも、政策金利見通しの中央値では2025年に0.25%の利下げが2回のみにとどまることが示唆されています。

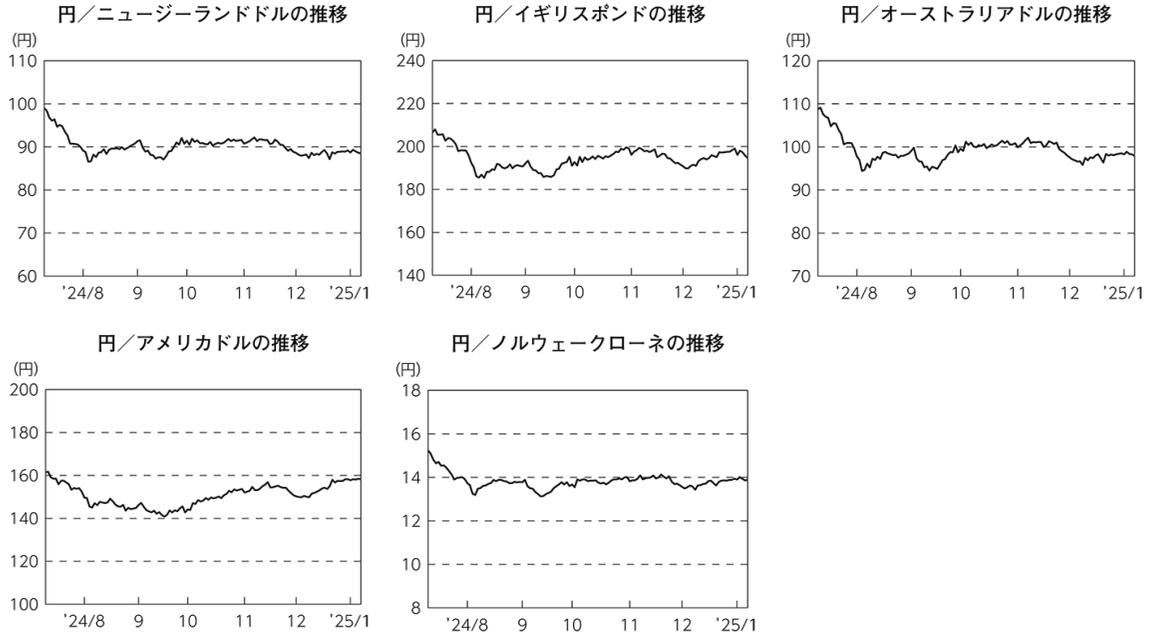
（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.08%近辺から、日銀が2024年7月の金融政策決定会合において政策金利を引き上げたことなどから、0.23%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.01%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.24%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「高利回り先進国債券ファンド クラスA」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（高利回り先進国債券ファンド クラスA）

全体として金利リスクへの配分を高めとし、ポートフォリオ・レベルのデュレーション（金利感応度）を長期化しました。当ファンドでは、主要中央銀行が積極的な利上げサイクルを終了し、中期的には世界の経済活動がより大幅に鈍化するなかで、金利は低下する可能性が高いと予想しています。先進国の中央銀行は、インフレ圧力次第でペースは異なるものの、段階的な利下げを継続すると予想しています。

期間の終盤にかけては、米国の大統領選挙を控えて、共和党圧勝となった場合のボラティリティの高まりを予想し、米国のデュレーション・リスクを戦術的に引き下げました。また、選挙後のボラティリティが落ち着くまで、高ベータ通貨への配分を引き下げて、アメリカドルを選好しました。

（マネー・オープン・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第250期	第251期	第252期	第253期	第254期	第255期
	2024年7月11日～ 2024年8月13日	2024年8月14日～ 2024年9月10日	2024年9月11日～ 2024年10月10日	2024年10月11日～ 2024年11月11日	2024年11月12日～ 2024年12月10日	2024年12月11日～ 2025年1月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	25 0.690%	25 0.704%	25 0.695%	25 0.704%	25 0.711%	25 0.726%
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,307	1,340	1,373	1,406	1,441	1,476

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「高利回り先進国債券ファンド クラスA」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（高利回り先進国債券ファンド クラスA）

米国では、大統領選挙が2024年11月の主要イベントとなり、共和党が下院で過半数を握り、上院で過半数を獲得したほか、ドナルド・トランプ氏が大統領に選出されました。その後、トランプ次期大統領は、自身の就任式の日に加ナダとメキシコから輸入されるすべての物品に対して25%の関税を課し、中国に対してはさらに10%の関税を課すと述べました。2023年に米国はこれらの国から約4,000億ドルの物品を輸入しており、これは輸入総額の42%に達しました。輸入の代替や報復関税、サプライチェーン（供給網）の再編が行なわれない場合、関税案は総輸入額に対して8.5%の税金に相当するとされています。関税の経済的根拠は弱く、研究ではトランプ前大統領による前回の関税のほとんどの影響は国内で負担され、成長が低迷し、インフレが加速したことが指摘されています。時間の経過とともに、経済成長やインフレのどの部分が影響を受けるかはまだ不明です。とはいえ、当ファンドでは、移民、関税、税制における大幅な政策変更の発表は迅速に行なわれるものの、実施は緩やかなものになると予想しており、2025年のマクロ環境は安定的となる一方、2026年にかけては不透明感が強まるとみています。

選挙によって消費者心理は足元および見通しの両方で改善しましたが、データでは労働市場や消費、投資の減速が示されています。住宅ローン金利が上昇するなか、新築住宅販売件数や住宅ローンの申込みは予想された通り依然として低迷しています。FRBは「雇用とインフレの双方のリスクに注意を払う」としています。FRBは2024年9月に0.50%の利下げを開始し、11月の会合で0.25%の利下げを実施したのちに、12月の会合でも0.25%の利下げを行なうなど段階的な緩和サイクルの「新たな局面」に移行しました。翌日物金利スワップ（OIS）市場で2025年に織り込まれている利下げは0.40%未満となっています。

英国では、秋季予算案が予想以上に拡張的なものとなり、歳出や税制、政府の借入れの継続的な拡大を通じて国内総生産（GDP）比で1%程度の財政拡張緩和が示されました。歳出拡大の約半分は税金から、残りの半分は借入れから賄われる見込みです。英国国債市場は引き続き警戒的な様子が続いています。

2024年第3四半期に景気が低迷し、第4四半期の購買担当者景気指数（PMI）や月次GDPによると同四半期における回復の見込みは高くないものの、10月のサービスインフレ率は5%近辺で高止まりしており、イングランド銀行（BOE）は12月の会合で政策金利を据え置いたことから、利下げに対する切迫感は後退しています。労働市場は鈍化しており、求人倍率は0.65と新型コロナウイルスのパンデミック（世界的な大流行）前の水準近辺にあります。BOEはハト派（金融緩和的な政策を支持）寄りの姿勢であるものの、予算案がBOEの政策見通しに影響をもち、賃金やサービスインフレが4%を下回り予想以上に減速傾向となることがない限り、金融政策委員会は四半期に1回の利下げにとどまるような段階的な正常化アプローチを堅持する可能性が高まっています。足元のOIS市場では、BOEが2025年2月の次回会合で利下げを実施する確率が72%織り込まれており、2025年の利下げ幅は0.60%未満になるとみられています。

欧州の複数の中央銀行が2024年半ばにハト派的な姿勢に転じる一方、ノルウェー銀行（中央銀行）はタカ派（金融引き締めの政策を支持）的な姿勢を維持しました。今後は小幅な緩和サイクルが見込まれるものの、同中央銀行はノルウェークローネを下支えし、継続するインフレに対処するために、政策金利をより長期にわたって高めに維持する方針です。ノルウェー銀行は、2025年年初の第1四半期を通じて政策金利を据え置く可能性があります。為替市場の過度なボラティリティの高まりに対する慎重な姿勢を維持するなか、こうした

ことが今後の利下げの道筋を決定づけるとみられます。ノルウェーの経済は底堅さを維持しているものの、減速の兆しが見られます。政策金利が高めであることが経済成長の重しとなっていることは確かですが、景気減速は他の地域に比べるとそれほど深刻ではありません。鉱工業生産や製造業生産は、経済活動の鈍化を受けて伸びが減速しています。消費は低迷が続いており、小売売上高は落ち込んでいます。一方で、労働市場では失業率が足元で上昇基調にあるものの、依然として過去最低水準にあるなど逼迫した状況にあり、ある程度の安心感がもたらされています。インフレ圧力は緩和しており、2024年11月の総合インフレ率は2.4%と市場予想をやや上回りましたが、コアインフレ率は3%へと加速して市場予想を大きく上回りました。

オーストラリア準備銀行（RBA）は、低調な経済環境にあるなか、政策金利の維持を決定して柔軟性を示しました。総合インフレ率は、2024年第3四半期に前年同期比2.8%へと減速し、RBAの目標レンジである2～3%の範囲に収まったものの、これは一時的な電力料金補助を受けたものであり、インフレ圧力は高止まりしています。コアインフレ率のトリム平均（変動の激しい項目を除く）は前年同月比3.5%と目標レンジを大幅に上回り、RBAが持続的な物価上昇圧力に着目していることと整合的となりました。力強い労働市場と相まって、これらの数値は利下げが実施される可能性が当面低いことを示しています。現在の予想では、2025年第2四半期に利下げが開始されるとみられています。RBAは直近の政策会合でタカ派的な姿勢を維持し、総合インフレ率が目標レンジに戻ることは金融緩和を意味するわけではないと強調しました。コアインフレや力強い労働市場に対する懸念から、RBAは慎重な姿勢を示しており、インフレリスクに十分に対処したうえで利下げを検討する考えを強めています。

ニュージーランドでは金融環境が緩和しつつあり、いくつかの指標で緩和の強まりが示唆されています。信用の供給状況や銀行融資がより緩和的となり、また株式市場は世界のトレンドに沿って上昇基調となっています。しかし、おそらく足元における世界的な金利上昇を受けて、10年物の実質利回りが高止まりしていることが、国内の債券市場に圧力をもたしています。ニュージーランド準備銀行（RBNZ）は経済を下支えするために再び断固とした措置を取っています。直近の政策会合で、金融政策委員会は政策金利を0.50%引き下げて4.25%とし、2会合連続で0.50%の利下げを実施しました。RBNZのオア総裁は、経済見通しが足元の予想通りであることを踏まえ、次回2025年2月の政策会合で0.50%の追加利下げを実施する可能性を示唆しました。インフレが抑制されている現在、RBNZの措置は経済成長を刺激することを目的としており、経済を押し上げるために必要な場合には積極的な措置を取る意向を示しています。

原則として、金利水準や各国のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を考慮して投資を行なう方針です。債券市況、為替市況、各国のファンダメンタルズなどの変化にあわせ、投資比率並びに投資対象国（通貨ベース）およびポートフォリオのデュレーションの変更を柔軟に検討する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・オープン・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年7月11日～2025年1月10日)

項 目	第250期～第255期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 15	% 0.426	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(3)	(0.074)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(12)	(0.333)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.019)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	15	0.428	
作成期間の平均基準価額は、3,582円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

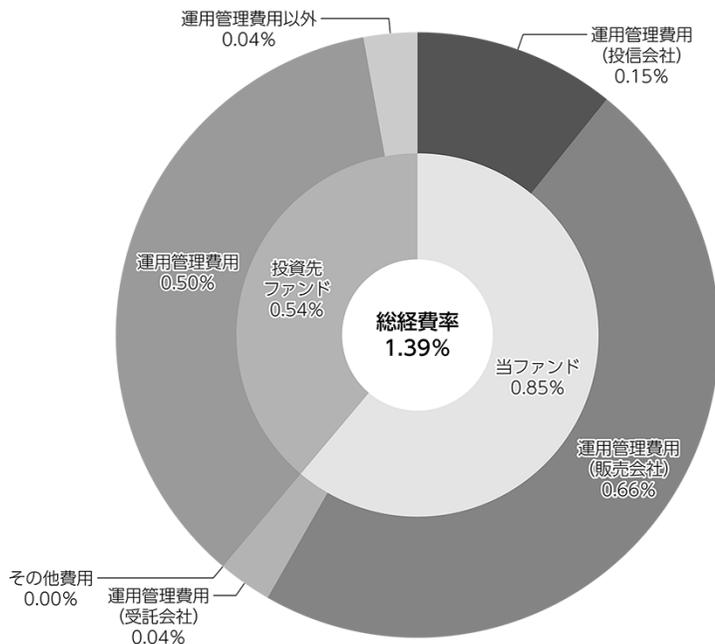
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.39%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.39
①当ファンドの費用の比率	0.85
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.50
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年7月11日～2025年1月10日)

投資信託証券

銘		第250期～第255期			
		買付		売却	
		口数	金額	口数	金額
国内	高利回り先進国債券ファンド クラスA	千口 11,871,332	千円 5,031,950	千口 9,791,903	千円 4,179,310

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘		第250期～第255期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・オープン・マザーファンド	千口 97	千円 99	千口 887	千円 901

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月11日～2025年1月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年7月11日～2025年1月10日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年7月11日～2025年1月10日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年1月10日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第249期末	第255期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
高利回り先進国債券ファンド クラスA		115,089,688	117,169,117	47,230,871	99.0
合	計	115,089,688	117,169,117	47,230,871	99.0

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第249期末	第255期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・オープン・マザーファンド		5,534	4,744	4,820

(注) 親投資信託の2025年1月10日現在の受益権総口数は、273,596千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年1月10日現在)

項	目	第255期末	
		評価額	比率
		千円	%
投資信託受益証券		47,230,871	96.3
マネー・オープン・マザーファンド		4,820	0.0
コール・ローン等、その他		1,813,814	3.7
投資信託財産総額		49,049,505	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第250期末	第251期末	第252期末	第253期末	第254期末	第255期末
	2024年8月13日現在	2024年9月10日現在	2024年10月10日現在	2024年11月11日現在	2024年12月10日現在	2025年1月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	52,538,179,109	52,061,445,176	52,430,125,438	51,868,659,850	50,841,052,856	49,049,505,474
コール・ローン等	928,739,074	1,785,743,311	1,836,466,937	2,328,128,917	1,817,791,906	1,813,760,114
投資信託受益証券(評価額)	51,603,894,657	50,270,454,833	50,588,482,403	49,535,406,312	49,018,232,300	47,230,871,073
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	5,539,282	5,163,787	5,164,295	5,006,362	4,881,238	4,820,785
未収入金	—	71,558	—	103,324	135,719	41,889
未収利息	6,096	11,687	11,803	14,935	11,693	11,613
(B) 負債	418,865,272	1,262,534,511	1,180,535,815	1,329,658,928	1,290,396,380	1,334,333,659
未払金	—	840,716,531	694,454,661	844,337,711	826,857,416	900,363,126
未払収益分配金	362,390,916	360,395,420	358,673,982	358,358,811	354,710,516	349,101,375
未払解約金	14,028,459	27,407,090	91,448,709	89,157,163	75,124,068	49,722,430
未払信託報酬	42,225,980	33,839,235	35,772,157	37,609,371	33,529,757	34,964,631
その他未払費用	219,917	176,235	186,306	195,872	174,623	182,097
(C) 純資産総額(A－B)	52,119,313,837	50,798,910,665	51,249,589,623	50,539,000,922	49,550,656,476	47,715,171,815
元本	144,956,366,563	144,158,168,049	143,469,592,814	143,343,524,747	141,884,206,453	139,640,550,086
次期繰越損益金	△ 92,837,052,726	△ 93,359,257,384	△ 92,220,003,191	△ 92,804,523,825	△ 92,333,549,977	△ 91,925,378,271
(D) 受益権総口数	144,956,366,563口	144,158,168,049口	143,469,592,814口	143,343,524,747口	141,884,206,453口	139,640,550,086口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,596円	3,524円	3,572円	3,526円	3,492円	3,417円

(注) 当ファンドの第250期首元本額は145,581,157,064円、第250～255期中追加設定元本額は5,106,916,198円、第250～255期中一部解約元本額は11,047,523,176円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第250期0.3596円、第251期0.3524円、第252期0.3572円、第253期0.3526円、第254期0.3492円、第255期0.3417円です。

(注) 2025年1月10日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は91,925,378,271円です。

○損益の状況

項 目	第250期	第251期	第252期	第253期	第254期	第255期
	2024年7月11日～ 2024年8月13日	2024年8月14日～ 2024年9月10日	2024年9月11日～ 2024年10月10日	2024年10月11日～ 2024年11月11日	2024年11月12日～ 2024年12月10日	2024年12月11日～ 2025年1月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	859,845,191	862,901,534	867,497,863	865,869,352	876,148,330	869,734,805
受取配当金	859,748,118	862,784,866	867,378,315	865,704,878	876,024,264	869,607,564
受取利息	97,073	116,668	119,548	164,474	124,066	127,241
(B) 有価証券売買損益	△ 4,511,687,854	△ 1,502,379,523	218,037,416	△ 1,135,435,063	△ 960,813,346	△ 1,536,877,511
売買益	20,261,202	2,504,519	224,797,804	4,144,517	5,561,835	4,946,188
売買損	△ 4,531,949,056	△ 1,504,884,042	△ 6,760,388	△ 1,139,579,580	△ 966,375,181	△ 1,541,823,699
(C) 信託報酬等	△ 42,445,897	△ 34,015,470	△ 35,958,463	△ 37,805,243	△ 33,704,380	△ 35,146,728
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	△ 3,694,288,560	△ 673,493,459	1,049,576,816	△ 307,370,954	△ 118,369,396	△ 702,289,434
(E) 前期繰越損益金	△ 33,319,634,451	△ 37,062,381,607	△ 37,770,115,626	△ 36,490,825,932	△ 36,608,750,479	△ 36,358,016,771
(F) 追加信託差損益金	△ 55,460,738,799	△ 55,262,986,898	△ 55,140,790,399	△ 55,647,968,128	△ 55,251,719,586	△ 54,515,970,691
(配当等相当額)	(4,244,185,756)	(4,263,533,256)	(4,300,259,762)	(4,535,889,448)	(4,561,264,744)	(4,548,844,513)
(売買損益相当額)	(△ 59,704,924,555)	(△ 59,526,520,154)	(△ 59,441,050,161)	(△ 60,183,857,576)	(△ 59,812,984,330)	(△ 59,064,815,204)
(G) 計 (D+E+F)	△ 92,474,661,810	△ 92,998,861,964	△ 91,861,329,209	△ 92,446,165,014	△ 91,978,839,461	△ 91,576,276,896
(H) 収益分配金	△ 362,390,916	△ 360,395,420	△ 358,673,982	△ 358,358,811	△ 354,710,516	△ 349,101,375
次期繰越損益金 (G+H)	△ 92,837,052,726	△ 93,359,257,384	△ 92,220,003,191	△ 92,804,523,825	△ 92,333,549,977	△ 91,925,378,271
追加信託差損益金	△ 55,460,738,799	△ 55,262,986,898	△ 55,140,790,399	△ 55,647,968,128	△ 55,251,719,586	△ 54,515,970,691
(配当等相当額)	(4,244,185,756)	(4,263,533,256)	(4,300,259,762)	(4,535,889,448)	(4,561,264,744)	(4,548,844,513)
(売買損益相当額)	(△ 59,704,924,555)	(△ 59,526,520,154)	(△ 59,441,050,161)	(△ 60,183,857,576)	(△ 59,812,984,330)	(△ 59,064,815,204)
分配準備積立金	14,709,199,129	15,054,144,176	15,405,350,492	15,630,598,317	15,887,887,625	16,063,253,279
繰越損益金	△ 52,085,513,056	△ 53,150,414,662	△ 52,484,563,284	△ 52,787,154,014	△ 52,969,718,016	△ 53,472,660,859

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2024年7月11日～2025年1月10日）は以下の通りです。

項 目	2024年7月11日～ 2024年8月13日	2024年8月14日～ 2024年9月10日	2024年9月11日～ 2024年10月10日	2024年10月11日～ 2024年11月11日	2024年11月12日～ 2024年12月10日	2024年12月11日～ 2025年1月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	817,399,616円	828,886,436円	838,763,837円	828,064,510円	842,444,302円	834,588,435円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金増減後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,244,185,756円	4,263,533,256円	4,300,259,762円	4,535,889,448円	4,561,264,744円	4,548,844,513円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	14,254,190,429円	14,585,653,160円	14,925,260,637円	15,160,892,618円	15,400,153,839円	15,577,766,219円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	19,315,775,801円	19,678,072,852円	20,064,284,236円	20,524,846,576円	20,803,862,885円	20,961,199,167円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,332円	1,365円	1,398円	1,431円	1,466円	1,501円
g. 分配金	362,390,916円	360,395,420円	358,673,982円	358,358,811円	354,710,516円	349,101,375円
h. 分配金(1万口当たり)	25円	25円	25円	25円	25円	25円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第250期	第251期	第252期	第253期	第254期	第255期
1 万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

○お知らせ

約款変更について

2024年7月11日から2025年1月10日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	高利回り先進国債券ファンド クラスA	
	ケイマン籍円建外国投資信託	
運用の基本方針		
基本方針	利子収入などを中心とする安定的な収益の獲得を目指します。	
主な投資対象	世界のソブリン債（国債、地方政府債、政府機関債、政府保証債、国際機関債をいいます。）や社債、コマーシャル・ペーパーなどを主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済協力開発機構（OECD）加盟国の中から信用力が高く、金利水準が相対的に高い国の公社債に投資を行ないます。 ・ 投資対象通貨は、必要に応じて適宜見直します。 ・ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行ないません。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式への投資は行ないません。 ・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 	
収益分配	原則として、毎月5日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。なお、管理会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.50% （国内における消費税等相当額はかかりません。）	
申込手数料	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、約款変更関連費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド	
管理会社	日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド	
信託期間	2163年3月26日まで	
決算日	原則として、毎年12月末日	

◎投資明細表

高利回り先進国債券ファンド

2023年12月31日現在

社債	元本	公正価値 (米ドル)	純資産価額に 占める割合 (%)
ニュージーランド (取得原価: 10,806,089米ドル)			
NZD Housing NZ 1.534% 10-Sep-35	16,000,000	7,055,509	1.62
		7,055,509	1.62
ノルウェー (取得原価: 15,923,014米ドル)			
NZD Kommunalbanken AS 1.25% 02-Jul-30	25,000,000	12,832,737	2.95
		12,832,737	2.95
韓国 (取得原価: 8,981,008米ドル)			
USS Korea Gas Corporation 3.125% 20-Jul-27	9,000,000	8,539,110	1.96
		8,539,110	1.96
国際機関 (取得原価: 9,732,306米ドル)			
AUD EUROFIMA 3.35% 21-May-29	11,440,000	7,351,226	1.69
NZD IBRD 4.25% 29-Jul-27	2,000,000	1,255,103	0.29
		8,606,329	1.98
米国 (取得原価: 13,648,062米ドル)			
USS Apple Inc 3.35% 09-Feb-27	3,000,000	2,923,653	0.67
USS Nestle Holdings 0.625% 15-Jan-26	5,700,000	5,266,424	1.21
USS Roche Holdings 2.375% 28-Jan-27	3,000,000	2,831,880	0.65
USS Visa Inc 1.9% 15-Apr-27	2,000,000	1,859,610	0.43
		12,881,567	2.96
社債合計 (取得原価: 59,090,479米ドル)		49,915,252	11.47
政府債			
オーストラリア (取得原価: 59,528,170米ドル)			
AUD Australia Government 0.25% 21-Nov-24	2,500,000	1,651,369	0.38
AUD Australia Government 0.25% 21-Nov-25	2,500,000	1,599,287	0.37
AUD Australia Government 2.75% 21-Nov-28	4,500,000	2,948,542	0.68
AUD Australia Government 1% 21-Dec-30	8,000,000	4,527,747	1.04
AUD Australia Government 1.75% 21-Nov-32	6,000,000	3,427,294	0.79
AUD Australia Government 3% 21-Nov-33	6,000,000	3,773,447	0.87
AUD Australia Government 3.25% 21-Jun-39	12,000,000	7,323,298	1.68
AUD Australia Government 2.75% 21-May-41	12,945,000	7,210,527	1.66
AUD Australia Government 3% 21-Mar-47	15,650,000	8,618,040	1.98
AUD New South Wales Treasury Corp 4.25% 20-Feb-36	10,000,000	6,498,738	1.49
AUD Queensland Treasury 4.5% 09-Mar-33	15,000,000	10,318,099	2.37
AUD Western Australian Treasury 4.25% 20-Jul-33	6,700,000	4,534,428	1.04
		62,430,816	14.35

	政府債 (続き)	元本	公正価値 (米ドル)	純資産価額に 占める割合 (%)
カナダ (取得原価 : 6,989,223米ドル)				
AUD	Ontario Provincial 3.5% 27-Jan-27	9,315,000	6,164,800	1.42
			6,164,800	1.42
オランダ (取得原価 : 10,559,276米ドル)				
AUD	Bank Nederlandse Gemeenten 3.3% 26-Apr-29	16,300,000	10,515,397	2.42
			10,515,397	2.42
ニュージーランド (取得原価 : 139,793,548米ドル)				
NZD	Auckland Council 5.734% 27-Sep-28	20,000,000	13,170,571	3.03
NZD	Auckland Council 2.95% 28-Sep-50	17,310,000	6,886,638	1.58
NZD	New Zealand (Govt) 4.25% 15-May-34	13,450,000	8,425,283	1.94
NZD	New Zealand (Govt) 2.75% 15-Apr-37	35,350,000	18,406,889	4.23
NZD	New Zealand (Govt) 1.75% 15-May-41	15,944,000	6,644,309	1.53
NZD	New Zealand (Govt) 2.75% 15-May-51	19,020,000	8,590,551	1.97
NZD	New Zealand Local Government Funding A 2.75% 15-Apr-25	1,880,000	1,153,142	0.26
NZD	New Zealand Local Government Funding A 4.5% 15-Apr-27	20,300,000	12,773,628	2.93
NZD	New Zealand Local Government Funding A 2.25% 15-Apr-24	20,520,000	12,871,188	2.96
NZD	New Zealand Local Government Funding A 4.5% 15-May-30	7,000,000	4,373,777	1.00
NZD	New Zealand Local Government Funding A 1.5% 15-Apr-26	17,500,000	10,288,092	2.36
NZD	New Zealand Local Government Funding A 2.25% 15-May-31	10,000,000	5,324,579	1.22
NZD	New Zealand Local Government Funding A 3% 15-May-35	22,600,000	11,759,498	2.70
			120,668,145	27.71
ノルウェー (取得原価 : 41,594,310米ドル)				
NOK	Norway (Kingdom of) 3% 14-Mar-24	98,000,000	9,615,979	2.21
NOK	Norway (Kingdom of) 1.75% 13-Mar-25	118,600,000	11,390,351	2.62
NOK	Norway (Kingdom of) 2% 26-Apr-28	102,500,000	9,590,230	2.20
NOK	Norway (Kingdom of) 2.125% 18-May-32	69,500,000	6,272,855	1.44
NOK	Norway (Kingdom of) 3.5% 06-Oct-42	60,000,000	6,212,960	1.43
			43,082,375	9.90

政府債 (続き)	元本	公正価値 (米ドル)	純資産価額に 占める割合 (%)
英国 (取得原価 : 53,997,031米ドル)			
GBP UK Treasury Notes 0.625% 07-Jun-25	4,900,000	5,948,868	1.37
GBP UK Treasury Notes 0.625% 31-Jul-35	350,000	317,233	0.07
GBP UK Treasury Notes 1.125% 31-Jan-39	400,000	346,668	0.08
GBP UK Treasury Notes 3.5% 22-Jan-45	5,000,000	5,804,778	1.33
GBP UK Treasury Notes 4.25% 07-Dec-46	10,930,000	14,157,836	3.25
GBP UK Treasury Notes 1.5% 22-Jul-47	8,000,000	6,185,304	1.42
GBP UK Treasury Notes 1.75% 22-Jan-49	8,000,000	6,445,362	1.48
GBP UK Treasury Notes 4.25% 07-Dec-49	8,000,000	10,367,906	2.38
GBP UK Treasury Notes 1.25% 31-Jul-51	2,000,000	1,356,891	0.31
GBP UK Gilt 3.25% 22-Jan-44	5,000,000	5,614,833	1.29
GBP UK Green Gilt 1.5% 31-Jul-53	4,200,000	2,982,630	0.69
		<u>59,528,309</u>	<u>13.67</u>
米国 (取得原価 : 78,741,594米ドル)			
US\$ US Treasury Notes 1.75% 30-Jun-24	13,000,000	12,783,160	2.94
US\$ US Treasury Notes 3.125% 15-Nov-28	10,700,000	10,346,814	2.38
US\$ US Treasury Notes 4.625% 15-Feb-40	10,000,000	10,744,140	2.47
US\$ US Treasury Notes 3.25% 15-May-42	1,450,000	1,276,963	0.29
US\$ US Treasury Notes 3.375% 15-Aug-42	32,000,000	28,641,248	6.58
US\$ US Treasury Notes 2.375% 15-May-51	19,950,000	14,309,457	3.280
		<u>78,101,782</u>	<u>17.94</u>
政府債合計 (取得原価 : 391,203,152米ドル)		<u>380,491,624</u>	<u>87.41</u>
投資合計、公正価値 (取得原価 : 450,293,631米ドル)		430,406,876	98.88
その他純資産		<u>4,883,720</u>	<u>1.12</u>
純資産合計		<u>435,290,596</u>	<u>100.00</u>

通貨表示	通貨	国名
AUD	豪ドル	オーストラリア
GBP	英ポンド	英国
NOK	ノルウェー・クローネ	ノルウェー
NZD	ニュージーランド・ドル	ニュージーランド
US\$	米ドル	米国

2023年12月31日現在

デリバティブ商品とヘッジ活動

シリーズ・トラストは、その取り組むデリバティブ商品やヘッジ活動についての情報開示に関し、FASB会計基準編纂書に記される権威あるガイダンスを採用している。このガイダンスはデリバティブおよびヘッジ活動についての高度な開示を必要とし、それによって財務報告の透明性を高めている。このガイダンスの目的は、なぜ、どのようにデリバティブ商品が使われているか、デリバティブ商品や関連したヘッジがどのように会計処理されているか、そしてデリバティブ商品や関連したヘッジが財務状況や業績、キャッシュフローに関係するとすればどのような影響を与えているかについて、財務諸表のユーザーに対し理解を深めるための目安を示すことである。このガイダンスを採用することで、資産負債計算書、損益計算書あるいは純資産変動計算書には何らの影響もなかった。シリーズ・トラストはいかなるデリバティブ商品もこのガイドの示すところのヘッジ商品として指定していない。

シリーズ・トラストは主に外貨のキャッシュフロー管理のための短期的なヘッジとして為替先渡契約に投資しており、主なリスク・エクスポージャーは外国為替リスクである。

以下の表は2023年12月31日に終了した年度の損益計算書に含まれるデリバティブに係る純損失を示している。

	実現損失	純未実現利益 の変動額	合計	当期中の平均活動額
	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
為替先渡契約	(358, 256)	-	(358, 256)	(35, 363)*

*当期中平均活動額は、米ドルに転換された各契約の平均想定エクスポージャーを用いて計算された購入活動額に基づいている。

◎損益計算書

高利回り先進国債券ファンド

2023年12月31日に終了した年度

2023年（米ドル）

投資収益

利息収入

16,861,091

投資収益合計

16,861,091

費用

受託者報酬

51,216

運用報酬

156,756

投資運用報酬

1,894,860

管理報酬

207,972

保管費用

80,291

専門家報酬

91,411

その他費用

4,434

ファンド費用合計

2,486,940

投資純利益

14,374,151

実現純損失および純未実現評価益の変動額

投資および通貨に係る実現純損失

(39,336,347)

為替先渡契約に係る実現純損失

(358,256)

投資、為替先渡契約および通貨に係る未実現評価益の純変動額

47,145,467

実現純損失および純未実現評価益の変動額

7,450,864

運用による純資産の純増加額

21,825,015

マネー・オープン・マザーファンド

運用報告書

第21期（決算日 2024年 1月15日）
 (2023年 1月17日～2024年 1月15日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

フ ァ ン ド 概 要

わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして安定運用を行いません。
 ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
17期(2020年1月15日)	円		%		%	百万円
	10,162		△0.0		—	696
18期(2021年1月15日)	10,159		△0.0		—	521
19期(2022年1月17日)	10,158		△0.0		—	398
20期(2023年1月16日)	10,155		△0.0		—	316
21期(2024年1月15日)	10,152		△0.0		—	293

(注) 元本の安全性を優先した運用を行なっているため、ベンチマークおよび適切な参考指数となる指標はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円		%
2023年1月16日	10,155		—
1月末	10,155		0.0
2月末	10,155		0.0
3月末	10,155		0.0
4月末	10,155		0.0
5月末	10,154		△0.0
6月末	10,154		△0.0
7月末	10,153		△0.0
8月末	10,153		△0.0
9月末	10,153		△0.0
10月末	10,152		△0.0
11月末	10,152		△0.0
12月末	10,152		△0.0
(期 末)			
2024年1月15日	10,152		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年1月17日～2024年1月15日)

基準価額の推移

期間の初め10,155円の基準価額は、期間末に10,152円となり、騰落率は $\Delta 0.0\%$ となりました。

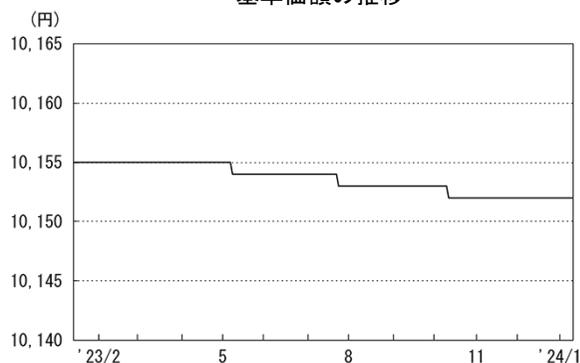
基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2023/01/16	2023/01/17	2023/10/12	2024/01/15
10,155円	10,155円	10,152円	10,152円

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの -0.03% 近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、 -0.01% 近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの -0.19% 近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、 -0.22% 近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2023年1月17日～2024年1月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,153円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年1月17日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年1月17日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年1月17日～2024年1月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2024年1月15日現在)

2024年1月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2024年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	293,708	100.0
投資信託財産総額	293,708	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年1月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	293,708,776
コール・ローン等	293,708,776
(B) 負債	198,597
未払解約金	198,565
未払利息	32
(C) 純資産総額(A-B)	293,510,179
元本	289,106,290
次期繰越損益金	4,403,889
(D) 受益権総口数	289,106,290口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,152円

(注) 当ファンドの期首元本額は311,251,070円、期中追加設定元本額は8,857,811円、期中一部解約元本額は31,002,591円です。

(注) 2024年1月15日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	153,800,333円
・グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	68,175,020円
・日興ビムコ・ハインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(株ドルコース)	13,739,040円
・日興ビムコ・ハインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(トルコリラコース)	9,629,170円
・世界銀行債券ファンド(毎月分配型)	9,000,074円
・資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース	7,904,694円
・日興・GS世界ソブリン・ファンド(毎月分配型)	6,352,120円
・グローバル3倍3分法(適格機関投資家専用)	5,642,457円
・高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	5,477,282円
・資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド・コース	2,481,609円
・日興ビムコ・ハインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)	2,121,761円
・日興ビムコ・ハインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	2,048,723円
・資源ファンド(株式と通貨)オーストラリアドル・コース	1,047,314円
・高金利先進国債券オープン(資産成長型)	538,501円
・グローバル3倍3分法オープン(適格機関投資家専用)	469,797円
・日興・世界ソブリン・ファンドVA(適格機関投資家転売制限付)	460,360円
・上場インデックスファンド中国A株(ハンダ)E Fund CSI300	198,295円
・上場インデックスファンド海外債券(FI SE WGBI)毎月分配型	19,740円

(注) 1口当たり純資産額は1.0152円です。

○損益の状況 (2023年1月17日～2024年1月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 83,775
支払利息	△ 83,775
(B) 保管費用等	△ 385
(C) 当期損益金(A+B)	△ 84,160
(D) 前期繰越損益金	4,826,068
(E) 追加信託差損益金	136,117
(F) 解約差損益金	△ 474,136
(G) 計(C+D+E+F)	4,403,889
次期繰越損益金(G)	4,403,889

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2023年1月17日から2024年1月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、投資対象ファンドにて行なうデリバティブ取引の利用目的を明確化するべく、2023年10月11日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第14条、第15条、第16条)